

ダム事業の検証に係る検討結果の報告（案）
について

・筒砂子ダム建設事業

平成25年7月
宮 城 県

案

河 第 号
平成25年 7月 日

国土交通大臣
太田 昭宏 殿
(東北地方整備局経由)

宮城県知事 村井 嘉浩

ダム事業の検証に係る検討結果の報告について

平成22年9月28日付け国河計調第6号で検討の要請があった下記のダム事業について、県の対応方針を別紙のとおり決定したので、「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」第3により検討結果を報告します。

記

(事業名)
・筒砂子ダム

(施設名)
筒砂子ダム

ダム事業に係る再評価実施箇所

再評価実施主体 (宮城県)
担当課 (河川課)

都道府県名	水系等名	事業名	再評価の理由 (※1)	対応方針	対応方針の決定理由	備考
宮城県	鳴瀬川水系 筒砂子川	筒砂子ダム建設事業	⑤	中止	「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき、鳴瀬川総合開発事業と筒砂子ダム建設事業の検証に係る検討を共同で行った結果、両事業を統合し、筒砂子ダム規模拡大と漆沢ダム(既設)との容量再編により田川ダムを中止する案が最も有利である。 したがって、鳴瀬川総合開発事業と筒砂子ダム建設事業を統合することとし、直轄河川への事業効果に鑑み、鳴瀬川総合開発事業として調査を「継続」し、筒砂子ダム建設事業を「中止」することとすることが妥当であると考えられる。 なお、事業の進め方の詳細については今後調整することとしている。	

※1 再評価の理由：以下の①～⑤のうち該当するものを全て選択して記入。

- ①事業採択後5年間が経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
- ③準備・計画段階で5年間が経過している事業
- ④再評価実施後5年間が経過している事業
- ⑤社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業